



くわた 恭子通信

http://kyoko.moo.jp
zxkyoko@yahoo.co.jp

[無所属]

発行日 R2年1月20日
 発行者 広島市議会議員
 くわた 恭子
 731-5153 佐伯区河内南2-30-2
 TEL929-2930 FAX929-2928
 OPEN 9時~12時(月~金)

地域の皆様、寒中お見舞い申し上げます。市議会議員のくわた恭子です。
 令和2年がはじまりに、今年もおろくお原賀いたします。
 オムの新年の始まりは、午前0時 地元河内神社への初詣から始まります。
 選挙を4月に控えた平成15年の正月、後援会でお祭り(にわか)はじまり
 この時の様子が地域の方に力強く映えたらしく、お山へ入降、お祭り
 行事となりました。初詣を慌たたく終えんと家業の店に元禄に
 ます。重谷神社の並みにあると夜中も多の来客をいたたいてお
 して再び午前9時、河内神社の歳旦祭に参列、初詣行事終了で
 体力勝負の年始行事、又天にまん、山に親に感謝です。新年初めの
 通信冒頭の記事を何にするか悩みました。日ごろお世話になっている地域
 活動への思いを掲載いたしました。今年一年頑張ります。



地域コミュニティ活性化 カギは「防災」と「子ども」と考える

地域活動は私の 原点

彩が丘小PTA会長を長女の卒業とともに終えた後平成11年子ども会の学区長を引く受けることとなった。この年は、地元の河内地区で土砂災害防止法制定のきっかけとなった6.29豪雨災害のあった年度です。

地域行事は甚大な被害により多くが自粛されました。子ども会も例外ではなく夏休み初めのナイトシアターをどうするか役員会を開きました。被災地出身の役員からは行事の中止と、行事より復興の手伝いが優先との意見。子ども会ができることは、子どもの応援、避難している子どもを招待して実行してはとの意見の二つに分かれました。多くの役員は後者でしたが、実行の決断は、困難な道の選択に思え、責任の重大さと、子供達の招待が被災された方に不快感を与えないか不安もあり、忘れられない会議であり、地域活動の重要性を学んだ行事です。

加入率が何だ！

2019年7月/町内会加入率(%)

	加入率	町内会数
中区	46.2	179
東区	59.2	197
南区	57.4	154
西区	60.1	175
安佐南区	50.6	293
安佐北区	67.5	471
安芸区	62.0	173
佐伯区	60.1	299
全体	57.0	1941

地域活動の低下や希薄化のバロメーターとして、町内会加入率が年々下がってきていることが懸念されると行政の資料にもある。が、加入率より担い手の減少や高齢化が問題、ある議員が言った町内会加入のお祝いに1万円を配って増やしても、解決ができるとは思えない。現状において各地域は頑張っている。

必要とされる地域活動を探ろう

どんな時代でも必要なのは活動は。

生き残っていくと私は思っている。現在の地域活動は、学校後社会福祉協議会をはじめ、行政のスケジュールにあわせ作られたものもあり。類似団体の統合が活動の担い手の確保につながるかと考える。また近年災害が多いことから、防災の視点からの行事やつがり、更に子どもを中心とした行事やつがりも地域の協力を得やすいと考える。既存の団体以外の新しいなかに立ち上げの支援もあてたい。日々の活動の中で、いつも思っていること...

不適切契約、高速5号線 二葉山トンネル工事の増額87億円

工事費の「認識のずれ」は県市、公社が書いたシナリオ、ずれなど無い

今12月議会初日、我々議員はこの場で、市長より議案の説明を受けました。その時、高速5号線の計画変更には一切触れられず、その他の議案にまとめられました。とても違和感を覚えました。その他の議案、これが広島市のこの問題に対する姿勢なのかと感じました。12月議会の最大のポイントは高速5号線であることは明らか、議案の説明文は市長も確認するもの、単純な事務作業で説明文を作ることは今改めていただきたい。

平成30年10月、高速5号線二葉山トンネルの工事が増額となることが明らかになりました。

平成27年の入札に応じたのは、大林、大成、広成の共同体一者が応札しています。平成28年5月、当初300億円だった見積額をわずか11日後、200億円に減額し契約を締結しました。

この契約が問題の根源です。公社は客観性を持たせるため第三者委員会に調査を依頼。その中で、不適切な価格交渉があったこと。契約額の見直しを協議することは相当の理由があるとの報告が提出。第三者委員会の報告を受け、公社とJVとで協議を行い二葉山トンネルの工事増額は87億円で合意したと11/21の建設委員会で説明がありました。結果的に工事の増額を認めたということは公社側に非があったということです。

報告書は、200億円の契約額には、シールド工法に必要な工事費の一部が含まれていないことは双方の認識にあったとしています。200億円で工事が出来ないことが分かっている契約をすることはもうその契約書を作ったことになり公正さを欠きます。公社、県、市がどのように責任を取るのか？

二葉山トンネル工事増額 87億円だけでも大幅な工事費の増額ですが、さらに高速2号と5号線を連結させる新たな事業が追加提案されています。平成18年、高速道路整備計画の変更がなされ、今回提案されている高速2号と5号線の連結は一旦中止とされました。

なぜ、今回新たな事業として提案されたのかなぜ、別々の事業として提案できないのか誰がいつ事業決定したのかお答えください

以上は一般質問からの抜粋

市長は責任を感じていない

今回の問題を受け、公社の理事長は自身の判断で退任すると聞いている。市としては公社の設立団体として2度と今回のような事案を起こさないよう指導を徹底していきたいと答弁。だが、別の答弁では、公社自身の再発防止に期待するとも述べ、整合性のない答弁。解ったことは市長は責任を感じていない事。

素人の契約ではない

300億円契約が11日後には200億円に減額、おかいいと普通は確認するがその事実は解明できなかった。工事費の一部とは、家を建てるのに屋根の工事費が抜けていると同様の外せないもの、これが外されたことに気づかないはずがない。費用対効果があるように意図的に外し、追加提案することは合意のうえの事だったとの疑念は晴れない。

第三者委員会 は「身内」

設置が早いなど当時感じた。客観的な調査に思えるが公社が設置した第三者委員会、メンバーは弁護士2人に学者が1人、現場を熟知した技術の専門家はいない。当事者への聞き取りは行わず、調査は書面での回答。公正正確な調査ではなく公社の意向に沿った調査になったのではの疑念を持つ。

議会としての審査放棄

11月の建設委員会の議論は公社を呼んで真相解明しようとの雰囲気であったが、いざ、公社招致の採決を取ると反対が多数。理由は第三者委員会以上のものは出ないだろうとか、12月議会で議論すればよいとか再発防止こそ重要との意見であった。が、12月議会で解明はできず、計画変更の議案が可決された。「反対して何になる、やらにゃーいけん事業でしょう」との意見。我々議員は行政の不作を究明するために議席を得ている。こんな手法の公共工事はあってはならない

高齢者いきいき活動ポイント事業 対象年齢を65歳以上に拡大

平成29年9月～平成30年8月の間、ポイント事業の効果検証を行い、社会参加への効果、健康づくり、介護予防の効果、地域団体活動の活性化への効果が認められたとして、令和2年9月からポイント事業の全面実施を行うとの報告

- ① 70歳以上を対象とした交通費助成制度を令和2年8月より廃止する。
- ② ポイント事業の全面実施に伴い、対象年齢を70歳以上から65歳以上に拡大する
- ③ 身体的理由でポイント事業に参加できない方が対象の交通費助成制度を新たに創設

新たな交通費助成制度

令和2年9月1日～開始

9月1日時点で65歳以上、かつ、要支援1から要介護5までの方が対象

	助成の上限	ポイント事業と併用する方の上限
要介護1～5	5000円	5000円/50ポイント
要支援1・2	2500円	7500円/75ポイント

1993年開始の交通費助成制度は2017年ポイント事業開始に伴い助成の上限を半額の3000円に引き下げた。2018年度の利用者数は約13万8千人、一方ポイント事業は約5万1千人、3割にも満たない利用状況だった。奨励金の支給額は約2億8千万円、事務費が2億5千万円かかってしまう事業である。

対象年齢を65歳に拡大することで21万人の対象者が27万人と6万人増加する。これに伴う奨励金、事務費の増額はいくらかの質問に、奨励金で2億1千万円事務費で約7000万円、総額2億8千万円の増額、財源は介護保険特別会計と答弁

65歳まで対象を広げる理由があいまいです。シニア世代のアンケートでも65歳から70歳までは働きたい、70歳も嘱託などの仕事の希望者が多いなか、社会に逆行する施策ではないか、母集団が増えれば利用率は低下するのではないかと思う。介護予防に力を注ぐことは否定しないが65歳への拡大は愚策と思う。

アストラムライン延伸環境影響評価実施計画に対し 地域から意見書が提出されていた

年明け早々、1本の電話かかかってきた。アストラムライン延伸について環境影響評価の説明会があり、昨年8月7日までに意見があるなら提出するようであったので提出している。通信には五月が丘住民が賛成のように書いてあったがそうではない。自分たちの意見は無視されているのかと言った内容だった。12月議会一般質問の項目に説明会での意見はどんなものかと聞いたとき、アセスに対して120人もの署名を添えてA4,4枚もの意見書が提出されていた事など何の報告もなかった。広く地域の意見が聞きたかった旨は承知しているだろうに、誠に不親切。電話を受け、担当課に確認すると縦覧期間は終了したとすぐには見ることが出来なかったが、最終的には、別の担当課より説明受け確認することが出来た。

意見書の内容の一部は、幅16mの道路に橋脚を立て軌道を押し込めることへの問題と不安快適な生活が、今後もできるのか、経済背を優先し、住民の生活が犠牲になるのでは長期にわたる工事による生活環境への不安立ち退くことのできない沿線住民の人生計画が狂う事への不安など書かれていた。

環境影響評価は、1年間行われるとの説明。その後準備書が作成、公開される。それに対し意見の提出が出来るとの事。機会をとらえ、意見を述べていきたい。一般質問で、最新の利用者予測はいつ出すのかとの問いに、今年度末までにと答弁した。調査するコンサルも決まっていない、年度末までの予測は不可能と思うが、調査結果は大変重要、きちんとしたものをまずは出してほしい

「2捨3入」！により公務員ボーナスを値上げ

公務員の給与は、9月提出の「人事委員勧告」に基づき、12月議会で職員給与の条例改正案が市長より出され決定します。
 人事委員勧告とは、官民給与の均衡を保つとされている。今回の勧告は、給与については、民間の方が177円、0.05%高かったが給与の方は値上げを見送り、ボーナスについては広島市が支給月数が4.45月分、民間が4.48月分と0.03月多かったので「2捨3入方式」で0.05ヶ月値上げをするものです。ボーナスの比較は支給月数のみの比較です。市長や議員も職員に準じ値上げになり、値上げによる支出は約3億5千万円です。我が会派は、市長、議員のボーナスの値上げは「厳しい財政状況、増額は必要ない」と反対をしました。反対は小数でした。

2捨3入 小学校で習うのは、4捨5入ですが人事委員勧告では2捨3入、これにより、0.03月は引き上げになり、最小単位の0.05月分の値上げになります。
 官民の均衡と言いながら、値上げにより民間より高い支給月数になります。平成2年、国の人事院に連動したものでそれ以降、このやり方です。バブル期に始まったものが現在も継続、民間の状況は全く違っているのに変えることは無い。「必ずこのやり方をするよう規定があるのか」の質問には、特に規定があるわけではないとの答弁でした。そもそも、支給月数だけを比較するやり方がおかしい制度です。職員のボーナスの平均は177万円、民間の事務職は166万円技能職は105万円で、職員の方が高額です。国の人事院制度に準じて決まる職員給与、今はおかしいと言い続けることしかできませんが、制度を変えるチャンスはあると思っています。

「女性議員を何とか増やしたい」プロジェクト



上の写真は、子連れで議場に入ったとして物議をかもした熊本市議会議員の緒方さんを迎える講演会。女性からも反感があった行動ですが、万策尽きたの行動でした。下記の表は、現在の県内女性議員の人数、まとめものです。大崎上島町は0人です。

敗戦後昭和20年10月10日、日本政府は女性参政権付与を閣議決定しました。その翌日、GHQも日本の民主化政策の第一に参政権付与による女性解放を掲げました。同年12月17日に衆議院議員選挙法が改正され、男性同様、選挙権、被選挙権が確立した」とは市川房江記念会女性と政治センター発行の女性参政70周年の記念誌の言葉にある。現在当たり前にある、選挙権や被選挙権は女性たちが戦中、耐えて運動し政府を動かした功績であり、その後の活動の継続が、現在の女性が活躍できる社会を作り出してきたと思っているしその活動は、今後も絶えることなく未来へと引き継ぐものであると思っている。先輩たちには遠く及ばないが、令和元年6月、同僚の馬庭議員と「県内の女性議員を100人に増やす会」を2人で立ち上げた。広島市議会に置いても、県内においても女性議員が増える傾向には無いし、増やす対策も特に無い講演会や勉強会を重ね、次期統一地方選挙には候補者を出したいと思っている。

広島県内23市町の女性議員数 ()内は在籍議員数 522人中女性議員60人

広島市6 (54)	福山市4 (38)	呉市3 (32)	東広島市4 (30)	廿日市市6 (27)	尾道市1 (28)
三原市4 (26)	竹原市4 (26)	三次市3 (24)	庄原市2 (20)	府中市2 (20)	安芸高田市2 (18)
江田島市1 (18)	大竹市1 (16)	府中町2 (16)	海田町4 (16)	安芸大田町1 (12)	熊野町2 (16)
世羅町1 (14)	北広島町2 (16)	坂町3 (12)	神石高原町1 (12)	大崎上島町0 (12)	

皆様の意見をお寄せ下さい

(この通信は会派の承認取得の為)